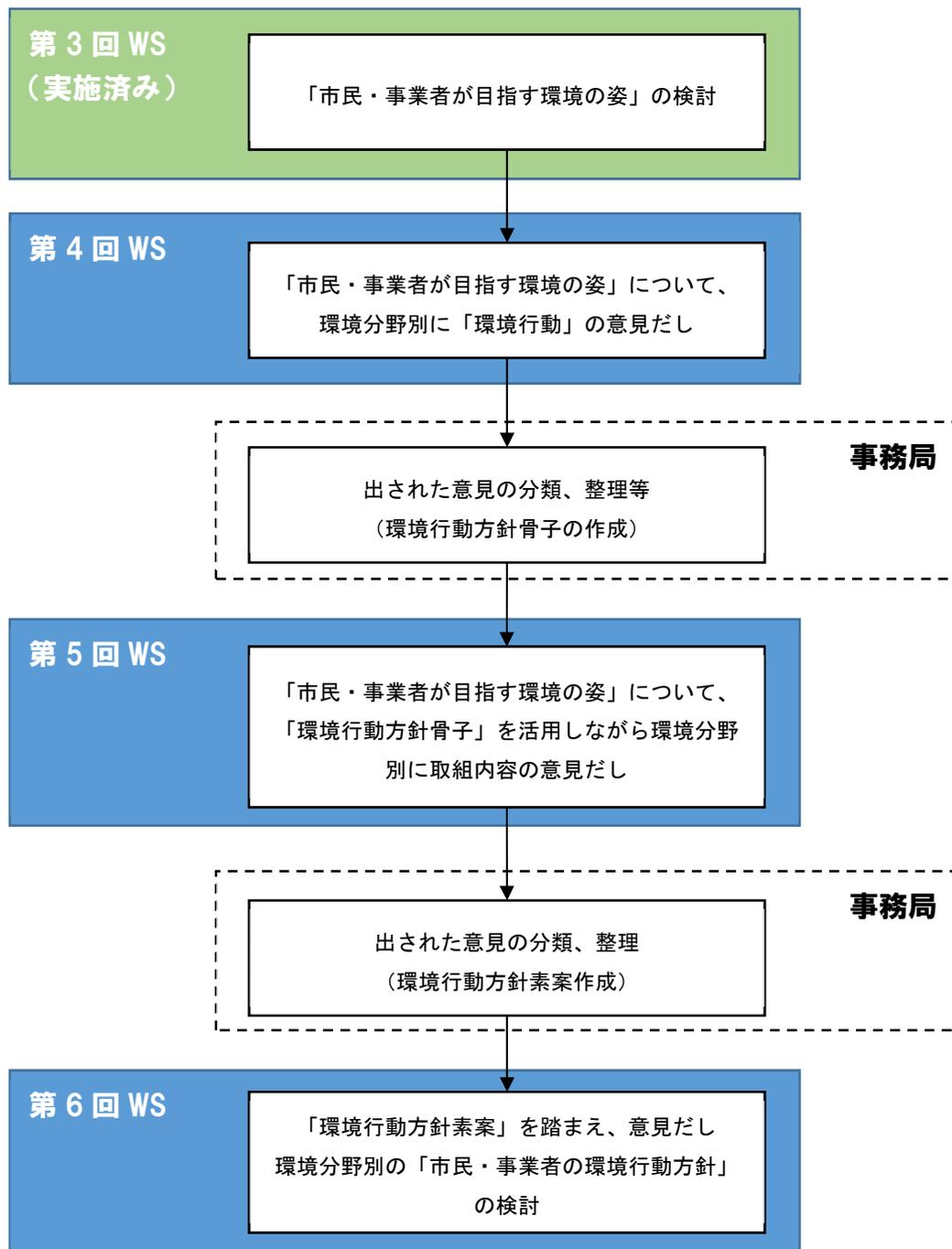


市民・事業者の環境行動方針検討の手順（第4回～第6回環境市民会議）

◇第4回～第6回環境市民会議の手順

- 第4回から第6回にかけて、「市民・事業者の環境行動方針」を検討します。全体の手順は以下の通りです。
- 生活環境分野については、骨子案作成に当たり環境の範囲の見直しを行ったため、「目指す環境のすがた」についても再度検討をお願いします。



◇第3回ワークショップで話し合われた「市民・事業者が目指す環境の姿」一覧

<p>廃棄物分野</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ポイ捨て、不法投棄のないまち ● 誰もが暮らしやすい循環型のまち ● ごみを減らしたり、再利用することに意識の高い市民が暮らす美しいまち
<p>地球環境分野</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民、事業所、行政での役割分担が進んだまち ● もっと地球環境について身近に感じられる工夫をするまち ● 地球環境についてみんなで学び教えあい、世代間交流が進むまち ● 一人ひとりが、自分の生活の先に地球環境があるという（地球環境を守っていくという）市民の暮らすまち <p><u>（以下は「生活環境分野」で話し合われた内容です）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者でも移動しやすいまち ● 誰もが病院、商業施設、公共施設などへのアクセスが確保されるまち ● （インフラ（ハード）が整っていないくても）隣近所が声を掛け合い、互いに助け合う温かい人々が暮らすまち
<p>自然環境分野</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外の方との交流の場や、貸し出しを行うなど耕作放棄地の有効活用ができるまち ● 山の管理への関心が高いまち ● 農地や山林が適切に管理されるまち ● 身近な自然環境を守り維持しながら、将来にわたってそれぞれの立場で安心して暮らせるまち
<p>生活環境分野</p>	<p>（今回、改めて話し合うテーマです）</p>
<p>協働の推進・ 環境学習分野</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽しみながら環境について学べるイベントのあるまち ● 学校教育で環境学習が充実しているまち ● 環境を学ぶ機会を持てるまち ● 地域のふれ合いで互いに広範囲の環境課題や意識を教え合い、高めあう人々が暮らすまち

◇第4回環境市民会議の内容

- 第3回環境市民会議で話し合っていたいただいた環境分野ごとの「目指す環境のすがた」を実現するために、市民・事業者がすべきことや取り組めること（行動方針）について検討をお願いします。
- 模造紙に意見を貼り付ける際には、下図のようにそれぞれ取組の「効果の大小」、「取組みやすさ」について分類をお願いします。
- 第3回環境市民会議では、効果の大小や取組み易さに関わらずより多くのご意見ををお願いします。

